

個別施策評価調書

部長	次長

主管部	市長公室	対象年度	平成27年度
関係部	—		—
	—		—

基本施策	つくばの魅力を発信する				
個別施策	29 シティ・プロモーションの推進				
個別施策の方向	つくば市には、筑波山に代表される自然や歴史、世界に誇る科学技術といった魅力ある資源が豊富に存在する。これらの魅力を発信するため、つくば市全体が主体となり“オールつくば”でシティ・プロモーションを推進し、誘客及び定住の促進を図る。				
これまでの取組概要	マスコミ・SNSなど各種媒体を活用し、つくばの魅力を広く発信することで、認知度向上やイメージアップを図ってきた。さらに、首都圏のイベントに積極的に参加し、知的財産・自然環境・特産品など様々な魅力を移住フェア等でアピールし、誘客や移住促進に取り組んできた。また、BiViつくば交流サロン等を活用し、つくばの魅力を来訪者や市民に発信し、つくばへの愛着の醸成に努めてきた。				
市民意識調査満足度	H27	20.7%	H29		参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：新たなまちづくりと定住の促進

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)		
H27年度決算	事業費	12,945	人件費	18,173	事業コスト	31,118						
事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	12,945		

個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
夢特区サイトへのアクセス数 (単位：千件)	活動結果指標	目標値	200	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000
		実績	495	1,505	—	—	—	—
PRキャンペーン実施回数(回)	活動結果指標	目標値	20	30	30	30	30	30
		実績	31.0	40	—	—	—	—
		目標値						
		実績						

個別施策の総合評価	
総合評価	B 施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
自己評価	<p>シティプロモーション推進のターゲットを、①市職員、②市民(在住、在勤、在学、来訪)、③社会全体の三つに分類して評価する。</p> <p>①市職員 意識啓発のためのセミナーを開催するとともに、ロゴやデザインの統一化を図った。さらに、専門職による助言を日常的に実施した。徐々に意識の変化が現れ、プレスリリース等のマスコミ対応が、質量ともに向上した。</p> <p>②市民(在住、在勤、在学、来訪) 科学、教育、自然、国際性、生活等の魅力が、交流サロンのセミナー等を通して、徐々に市民の中に浸透している。これからも、つくばに人を呼び、人を留める工夫を継続する。</p> <p>③社会全体 つくばを知り、好きになり、選んでもらう取組みを更に推進する。マスコミ、ICT、情報誌等を活用するとともに、移住フェアなどイベントを開催する。</p>

個別事業調書

個別施策	29 シティ・プロモーションの推進												
個別事業名	29-1	シティプロモーション事業				担当課	シティプロモーション室						
事業概要	<p>マスコミやSNS等さまざまな媒体を活用し、つくばの魅力を広く発信することで認知度の向上及びイメージアップを図る。また、市民へも魅力をPRし、つくば市への誇りと愛着を醸成する。</p>												
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	工程	運用及び見直し											
	事業費(千円)	19,474		9,735		13,490		22,547		22,547		22,547	
事業指標	指標名	夢特区サイトへのアクセス数 (単位：千件)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
						目標値	200	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	
						実績	495	1,505	—	—	—	—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して「つくば、ホンモノ！夢特区」サイトへ観光・イベント・グルメなど魅力ある情報を掲載した。 夢特区民対象のイベントを5回実施した。 職員向けのプロモーションセミナーを4回実施した。 筑波大学生と魅力発掘、発信に係る協働事業を展開した。 												
H27年度決算	事業費(千円)	9,735	人件費(千円)	8,003	事業コスト(千円)	17,738	正職員従事割合(人)		1.00				
							時間外勤務(時間)		215.00				
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	9,735			
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された												
事業の有効性	中：適切な成果が得られている												
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている												
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施												
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 夢特区における登録手続きの煩雑さ等により、協力事業所数や会員数が伸びないことや、サイトのトップページの再リニューアルや、運用の一部見直しを行い、魅力情報の発信強化を図る。 定住化促進を図るため、効果的なPR方法について模索する。 												

個別事業調書

個別施策	29 シティ・プロモーションの推進														
個別事業名	29-2	誘客・定住促進事業				担当課	つくば市東京事務所								
事業概要	首都圏において、観光及び物産等々のPRキャンペーンや、テレビ地域情報誌等のマスコミやSNSを活用し、つくばの魅力を広く発信する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程														
	事業費(千円)	5,000		3,210		5,815		4,366		4,366		4,366			
事業指標	指標名	PRキャンペーン実施回数(回)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
						目標値	20	30	30	30	30	30			
						実績	31	40	—	—	—	—			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光及び物産PRキャンペーン・・・35件 東京シティアイ観光キャンペーン、八重洲三井ビルマルシェ、秋のつくばで稲刈り体験、つくば美味しい産直マルシェin日本橋など新規事業3件含む ・定住促進・・・5件 日野自動車移転PR、東京シティアイキャンペーン等 ・つくば市@バルーン・・・11回 ・かっぱ橋道具まつり 														
H27年度決算	事業費(千円)	3,210		人件費(千円)	10,170		事業コスト(千円)	13,380		正職員従事割合(人)		1.30			
											時間外勤務(時間)		192.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	3,210	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<p>平成27年度には、出展関係者などとの役割分担による各イベントでの負担を軽減することで、これまでと比べて、より多くのイベントに出展することができた。今後さらに数多くのイベントでより効果的にPRを実施するためには、関係部署や団体などとPR効果を検証し、イベント出展の継続または廃止の判断をすることで、より効果的な新規イベントへの参加・実施を促進することができる。</p> <p>また定住促進については、市内及び茨城県や関係団体等と連携して、事務所内に移住コーナーを設置するなど、子育てや教育など市の魅力を発信する都内の拠点として、東京事務所を位置づけるとともに、これまで実施している観光・誘客イベントにおいて、効果的に移住情報をPR手段について検証していく必要がある。</p>														